

決算特別委員会の審査から

平成30年度の決算を審査するため決算特別委員会が10月2日から21日まで開かれました。

市長から提出された決算関係議案は決算議案21件、関連議案3件の計24件(一般会計1件、特別会計15件、公営企業会計8件)です。総会や分科会で審査した結果、全ての決算関係議案を全員賛成または賛成多数で認定・可決すべきものと決定し、12月定例会に報告しました。

※詳細については、市議会ホームページや市ホームページ、区役所、情報プラザ等で閲覧できます。

各会派の意見

- 自由民主党福岡市議団、公明党福岡市議団、福岡市民クラブ、福岡令和会、自民党新福岡 決算関係議案24件全てに賛成
- 日本共産党福岡市議団 一般会計、特別会計10件(後期高齢者医療など)、公営企業会計7件(モーターボート競走事業など)の議案に反対
- 緑と市民ネットワークの会 一般会計、特別会計11件(後期高齢者医療など)、公営企業会計6件(モーターボート競走事業など)の議案に反対



主な意見・要望 決算特別委員会委員長から議会に報告された主な意見・要望は次の通りです。

- 本市の人口増の影響 中長期的な政策の立案において、子育て世代の動向や単独世帯の増加など、本市特有の変化を反映すべき。
- G20福岡財務大臣・中央銀行総裁会議 今回の経験を生かし都市機能をさらに高め、次のステージへ進めていくべき。
- 在住外国人 技能実習生や留学生などの実態を把握して支援を行うとともに、共生社会を実現する条例などを作るべき。
- 障がい者雇用の充実、改善 正規職員の採用試験における知的および精神障がい者への受験資格の拡大などに全庁で取り組まれない。
- 自律的な行政運営 社会環境の変化とともに、施策や事業の行政関与の必要性などの見直しが必要であり、改革促進に取り組まれない。
- 財政運営の偏り 市民生活に関わる分野の歳出が少なすぎる現状を改め、市民の命と暮らしを守る施策を最優先に進めていくべき。
- 再犯防止の推進 犯罪や非行をした人の中には、さまざまな困難を抱えている人も多く、より細やかな再犯防止推進計画を策定すべき。
- 繁華街における悪質な客引き 都市のイメージ低下につながる迷惑行為であるため、規制する条例を早期に制定すべき。
- 交通安全対策 運転免許証の自主返納者への効果的な支援、自動車の急発進防止装置の設置費用等の助成などにより、さらに推進されたい。
- 災害に強いまちづくり 避難場所を増やし、避難情報を一人一人に確実にきめ細かく伝える仕組みを早急に整え、情報提供の充実を図るべき。
- 災害に強いまちづくり ハザードマップの地域での活用も必要であり、また、原子力災害対策として安定ヨウ素剤の備蓄を進められたい。
- 世界水泳 今後の収支の見込みが分からないような大会の開催は返上し、市民スポーツの環境整備にこそ税金を投入すべき。
- 不妊・不育治療 若い世代に対しては適齢期があることを知ってもらうことが重要であり、パンフレットを作成して啓発を推進されたい。
- 学校規模適正化 小規模校は統合も含めた検討を行うべき、また、校区調整を行った学校が再び過大規模校となっているため、分離も含めて協議を進めるべき。
- 子どもの人権相談体制の充実 相談体制の構築に当たっては、誰もが手軽に利用できる「子どもの人権SOSミニレーター」の周知、定着を図るべき。
- 観光施策 博多旧市街まるごとミュージアムなどを本市全体でのアートイベントとして発展、継続させ、来訪者に感動を与えられたい。
- 林業 森林の多面的機能を発揮させるために活性化が重要であり、荒廃森林整備など林業施策にもっと目を向けられたい。
- 林業 課題解決に向け国の森林環境譲与税を有効活用し、森林保全を早急に進められたい。
- 生活保護 人権侵害である面接室の監視カメラを撤去して、保護受給者、相談者に寄り添うように改めるべき。
- ひきこもり状態にある人たちへの支援 中学校と高校の連携等に努めるとともに、よかよかルームに40歳以上の人を対象とする相談窓口を設け、支援の充実を図るべき。
- 断らない相談支援 「つなぐシート」を全庁で導入し、関係機関との連携を図るなど、縦割りを超えた総合的かつ伴走型の支援体制を構築されたい。
- ウォーターフロント地区の交通アクセス強化 地下鉄については、具体的な延伸区間に基づいた建設費や、採算がとれる利用者数などを試算されたい。
- コミュニティパーク事業 実のある取り組みに発展するように、住宅都市局だけで推進するのではなく関係局との連携に努められたい。
- ため池の活用 周辺の遊歩道等を公園として位置づけトイレを設置するなど、関係局が連携を図り、柔軟な発想で取り組まれない。
- 下水道事業会計および水道事業会計 的確に現状を把握し、将来にわたり安定的に事業が継続できるように、しっかりと経営戦略を立てるべき。
- 水道行政 引き続き安定した経営を維持するために、収入の確保と計画的な施設の維持管理を行うべき。
- 増収への取り組み 地下鉄駅構内空きスペースの有効活用による営業収入増とにぎわいづくりの実現に積極的に取り組むべき。

議会改革調査 特別委員会の設置

特別委員会は、特定の問題を審査または調査するために必要に応じて設置される委員会です。12月18日の本会議で議会改革調査特別委員会(定数14人)が設置されました。付託事項および委員は次の通りです。

付託事項

- 議会基本条例に関する調査
- 議会改革に関する調査

委員

| | | |
|------|---------|--------|
| 委員長 | 今林 ひであき | |
| 副委員長 | 松野 隆 | |
| 委員 | 川上 陽平 | 津田 信太郎 |
| | 大森 一馬 | 古川 清文 |
| | 篠原 達也 | 藤野 哲司 |
| | 天野 こう | 山口 湧人 |
| | 綿貫 英彦 | 森 あやこ |
| | 田中 たかし | 落石 俊則 |

※委員名は議席番号順に掲載

発行:福岡市議会 編集:議会事務局調査法制課 〒810-8620 福岡市中央区天神一丁目8番1号

電話 711-4749 FAX 733-5869

メール chosa.CCS@city.fukuoka.lg.jp

ふくおか市議会だより次号は、5月1日発行予定です。



ホームページ



議会中継

姉妹都市・友好都市との交流

福岡市議会広州市友好訪問団の派遣

友好都市である中華人民共和国・広州市の議会にあたる広州市人民代表大会常務委員会に、11月26日から29日までの間、福岡市議会広州市友好訪問団(団長:阿部真之助議長)を派遣しました。期間中、「気候変動への対応策について」をテーマにした交流協議を行うとともに、防災減災工事^{じゅうこう}中の珠江堤防の視察などを行いました。



福岡市議会イポー市友好訪問団の派遣

姉妹都市締結30周年を迎えたマレーシア・イポー市に、12月3日から7日までの間、福岡市議会として初めて友好訪問団(団長:楠正信副議長)を派遣しました。期間中、イポー市議会やペラ州議会との交流とともに、ペラ州首相への表敬訪問や、記念行事への参加などを行いました。



元議員、上野忠之氏(74歳)が1月14日に逝去されました。謹んでご冥福をお祈りいたします。

政治倫理審査会で議員の資産等報告書を審査

議員の資産等について審査する福岡市政治倫理審査会が8月28日に開催されました。

改選後の議員62人から提出された資産等報告書(令和元年5月2日現在所有する資産等)について、記載事項に疑義がないかなどが審査された結果、「特に指摘すべき事項はない」との審査報告がなされました。

問い合わせ先

議会事務局調査法制課(市役所議会棟8階)

電話 711-4749 FAX 733-5869

社会科特別授業

市議会では、児童の政治や議員の仕事に対する関心を高めるため、児童に実際の議場を使って議員の仕事を経験してもらう社会科特別授業を実施しています。

本年度は5回開催し、南区日佐小学校、博多区月隈小学校、中央区春吉小学校、博多区那珂南小学校および南区柏原小学校の6年生が参加しました。

市長役の議員から提案された「朝食を学校給食にすること」などのテーマについて、児童が自ら考えた質問を行い、その後、グループに分かれ、委員長役の議員の進行でさらに詳しく賛成、反対の意見を出し合いました。それから、再度議場に集まり各グループの代表児童がグループ討議の結果を発表し、最後に採決を行いました。